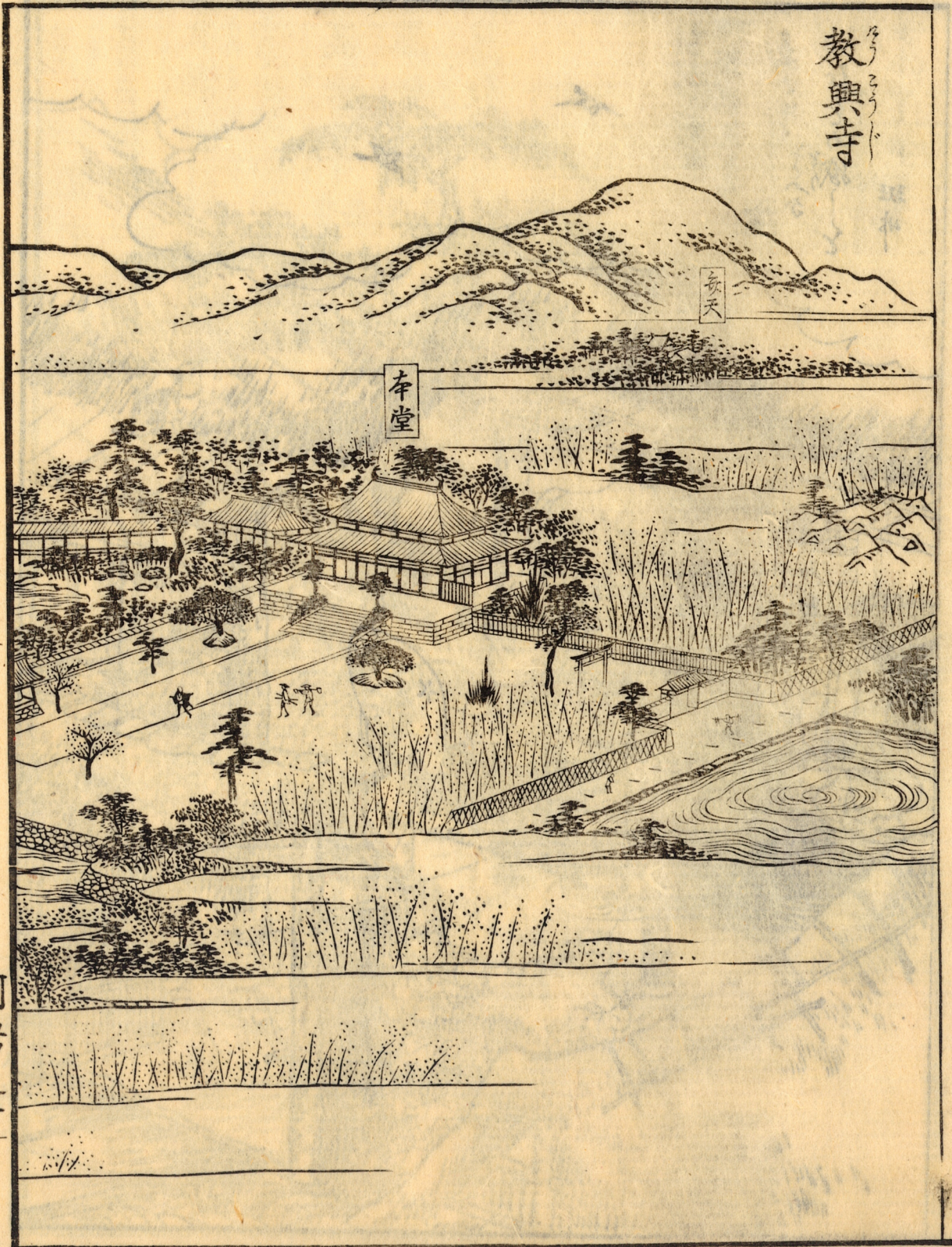


教興寺



高安の
里に
ありて
常の
徳風

方丈

表門



高安山 一郡の東北あり平城郡の時時輝燭を舉一

軍器の狼煙烽火なり他國の軍勢を來る時高安の山に登る

又元亨釋書曰寛平九年沙門明遠高安縣東山に登生

雲をねね姓馬北山のいふおんふをせむを安の里

高安里 安の里

雲をねね姓馬北山のいふおんふをせむを安の里

新六帖 表をねねのいふおんふをせむを安の里

高安ふらう集にわが時多のいふおんふをせむを安の里

名産高安本綿

幅廣く綿ふ小糸なり着る小強地は是を河内本綿と云ふ

外村人

獅子吼山教興寺 教興寺村あり一名高安寺又慈三昧院と稱す

本尊弥勒菩薩 長き丈余座像

近半覺玄比丘再興を佛辰天升の画と蟠龍を墨く狩野

天照大神高座神社二座 延喜式曰大月次新嘗元春日戸神社と号す

白飯瀧 窟の南ふあり三丈許土人難天渡と云ふ

掃部神祠 黒谷村あり三代實録曰貞觀十六年

八大金剛童子祠 黒谷村中

黄檗派恭見和名岡基

十二月授從五位下

掃部神祠

八大金剛童子祠